



公益財団法人
船井情報科学振興財団御中

2023年6月5日
ボストン大学アシスタントプロフェッサー
塩田 佳代子

2016年度派遣奨学生 第16回 留学報告書

FACULTY POSITION 就職報告

前回の報告書に記載いたしましたでしたが、昨年夏から米国での faculty 就職を目指してさまざまな大学にアプライしました。8~10月に第一次選考のパッケージ（1. Cover letter, 2. Research statement, 3. Teaching/mentoring statement, 4. Diversity statement）を各大学に提出し、10~12月に online interview、11~1月に on-site の in-person interview がありました。大変ありがたいことに複数校から非常に良いオファーを頂き、交渉を重ね、家族や子どもたちのことも考え悩みに悩んで、Boston University School of Public Health の Global Health 学科に Assistant Professor として就職することに決め、4月1日付で Shioda Research Group を立ち上げることができました。

東京大学の獣医学専攻4年生の頃に海外留学することを決意してからというもの、Emory University での Master of Public Health、WHO Country Office for Thailand でのインターン、CDC 就職、Yale University での PhD in Epidemiology of Microbial Diseases、WHO/PAHO でのコンサルタント、Emory University でのポスドクを経て、ついにここまで来たのだなと感慨深く振り返っ…ている余裕もなかなかない状況です。Faculty position を始めてまだ2ヶ月しか経っていないのが信じられないくらい充実した日々を送っています。Shioda Research Group ではワクチン疫学とワンヘルス（One Health）を二つの柱として、様々な国の人たちと協力しながら人と動物の健康、環境の保全・改善につながる仕事をしていきます。ポスドクや学生のみなさんとどんどん良い仕事をしていきたいと思っているので、もし私の研究に興味のある方がいらっしゃればご連絡いただけたら大変光栄です。

船井財団の皆様には2016年8月から、6年半の長い間お世話になりました。財団の皆さまのサポートがあったからこそ、競争率が非常に高いYale大学のPhDコースに入学でき、そこで培った知識・スキル・ネットワークのおかげでずっと夢だったアメリカの大学での faculty position に就職することができました。チャンスを頂けたことを本当に心から感謝しています。また、志が高い奨学生のみなさんと知り合えて切磋琢磨できたことも私の人生の宝物です。これから

もさらに大きな夢を描いて、たくさんの人と支え合いながら達成していけたらと思っています。ここまで支えてくださり本当にありがとうございました。また日本で直接お礼を言える日を楽しみにしております。また、これからは財団に別の形でサポート役としても関わることができたら大変光栄です。これからもどうぞ宜しくお願い申し上げます。

塩田佳代子

Kayoko Shioda, PhD, DVM, MPH

kshioda@bu.edu